



小池博之議員

**小林町政一期目の評価と二期への決意は**

**町政運営に力を出し切ったと自認している**

**質問**：任期満了に伴う8月の町長選に再出馬を表明したが、4年前町民に約束した公約に対する自己評価と、2期目への課題は。

**町長**：積極的に施策を実行して進展を図り、町民や議会の協力で十分力を出し切った。トップセールスにより、国・県への太いパイプが構築でき、農業・ソーラー発電事業などで成果を得た。2期目は、町が持つ潜在基盤を生かしながら、リニア新

幹線、自然エネルギーの有効活用など、将来の明るい町づくりへのレールを敷いていきたい。

**■教育の町づくり推進について**

**質問**：「エデュ・カフェ」や移動教育委員会などの成果と課題は。

**教育長**：「エデュ・カフェ」には233人の参加をいただき、保護者の率直な声を聞くことができた。継続して実施したい。

**質問**：「無料塾」の今年度の方針は。「学習塾」を教育委員会が開くことに疑問を持つ声がある。主体を民間団体やNPOに任せるべきでは。

**教育長**：「無料塾」は新年度中学1・2年生を対象に毎週水曜日、年間30回の通年講座を開く。希望生徒は全員受け入れる。この事業は、町内外から高く評価されている。民間の学習塾の手法を踏襲することなく、将

来的には、幼児から大人まで幅広い学習と趣味を包括した社会教育の総合講座とする壮大なビジョンを考えている。

**■地域活性化事業について**

**質問**：「楽酪ミルク工房」「道の駅鷲木宿」「おっこと亭」など、地域活性化施設の経営が厳しくなっている。行政指導に限界があるのか。鷲木宿については、使用料を1000万円も減額する決算内容は、町民の理解が得られないのでは。

**町長**：鷲木宿については、今年度は仕方ないと判断をした。経営の主体は各協議会にあるが、チェックが必要。今後、第三者など専門家の助言を入れるなど、経営体質の強化に努めたい。

□その他の質問  
\*町職員の給与等改定について



加々見保樹議員

**エコラインを北杜市まで延長する考えは**

**理想ではあるが、今は考えられない**

**質問**：広域農道(エコライン)は農業振興等の目的を果たしているか。

**町長**：農道として十分機能している。また大動脈として役立ち、経済効果も大きいと考える。

**質問**：乙事地区が終点でなく小淵沢インターまでは八ヶ岳高原ラインに直結しなければ意味がないとの声があるか。

**町長**：真つ直ぐに小淵沢の縦ラインに直結するのが望ましいが、県施行であり予算的に簡単に認められる状況ではない。

**町道**：たつた道に歩道も付け、エコラインと同じ規格にして県道17号道に接続した。この状態で今後を待ちたいが、八ヶ岳観光圏を絡めて延長を働きかける方法も検討したい。

**質問**：当初、町では乙事から先の延長を熱心に検討、要請をしていたが、その後は。

**建設課長**：工期が大幅に遅れ費用も膨らみ、事業年数が長くなるに従い、議論が薄れたと考える。

**質問**：当初予定では小淵沢インター直結だったが、それができない状況が発生したと聞いたが。

**副町長**：広域農道なので、乙事から先は農振農用地がなく受益がないということとで延長できなかった。

**質問**：空き家・廃屋問題

**質問**：当町内でも空き家・廃屋が増えて、景観上や倒壊の危険等問題がある。解体に要する費用

に補助を出す考えは。また、適正管理を求め、一定の手続きを取れば解体もできる空き家管理条例を制定する考えは。

**町長**：県も何らかの条例が必要という認識を持っている。国・県の方針が出たら、それに従って行動する。その場合は補助金等も出るので、当面補助する考えはない。

**■当初予算について**

**質問**：25年度予算は、町民の要望をくみ取ったバランスの良い構成になっているか。

**町長**：今年度は通常規模の予算。安全・安心に重きを置いた。公約した戦略的事業は、実行する予算となっている。

**質問**：身の丈の予算というが、住民一人当たりになると高くないか。

**町長**：当町は広いので、人口密度の高い自治体より行政サービスの費用が高くなる。